

# 全国よい仕事研究交流集会2018 ①

「全国よい仕事研究交流集会2018」を2018年3月3日(全体会：ベルサール秋葉原、参加者565人)、3月4日(分散会TKP品川カンファレンスホール、参加者466人)で開催しました。本号では、全体会の様子を掲載しています。

本集会は、「協同労働が法制化される時代 いのちと社会に向き合う協同労働・よい仕事とはなにか、その深化・発展のプロセスをみんなで考える」をテーマに開催しました。

それぞれの挨拶、記念講演、リレートーク、地域報告につきましては、本誌をご覧ください。ただければと思います。また集会内で、「ワーカーズ 被災地に起つ」の映画視聴を行ないましたが、その中身は、協同の発見誌3月号(304号)をご覧ください。

本集会の学びとして、「協同労働がいのちと社会に向き合う働き方として、関係性を大切にしながら、地域・社会をつくること」であったように思います。そして「よい仕事観」は、一人ひとりが実践のなかで紡ぎ出すことを通じて、発見し、深めるものであると思いました。

「よい仕事観」の変遷は、協同の発見誌282号(2016年5月号)に永戸祐三労協連理事長(当時)へのインタビュー(P.124-P.134「協同労働の協同組合の『よい仕事観』の変遷」や、協同の発見誌294号(2017年5月号)の特集リード文(P.4-P.6)で取り上げています。私は5年間、全国よい仕事研究交流集会を特集テーマに組み、編集した立場から考えたときに、一人ひとりにとっての「よい仕事観」を深める必要性とともに、ワーカーズコープとして、どのような「よい仕事観」の現状があるのかを研究所として明らかにしたいと考えました。

そこで、センター事業団の15の事業本部の事務局長にお願いして、2日目の分散会に選出された事業所の推薦理由(16項目)に当てはまるもの全てにチェックを入れていただきました。結果、「労働者の変化・成長があった」(42票)「地域の声を聞く取り組み」(33票)「団づくり(職場づくり)」(29票)が上位3つの理由でした。つまり事業本部事務

局長から見る、「よい仕事」の基準や評価は、「働く仲間の団結、変化、成長、地域と共に歩む社会連帯」にありそうです。そしてこれはよい仕事研究交流会の記載フォーマットと深く関わっています。（分析結果は、本号『『全国よい仕事研究交流会2018』で報告した事業所の推薦理由から見えるよい仕事の基準』とは」をご参照ください。）

今後、経年で見ても行かなければ傾向が見えてきませんが、社会情勢や協同労働の協同組合運動が深化・発展する過程で、「よい仕事」の基準がどのように変化していくのかを、来年度のよい仕事研究交流会でも検討したいと思います。

全国のワーカーズコープで働く13,000人が全員、本集会に参加できませんでしたので、本集会の学びを本号を通じて共有し、一人ひとりないし事業所全体として「よい仕事観」を発見・深化する契機にいただければ嬉しく思います。

（協同総合研究所 事務局長 相良 孝雄）



## ■ 資料

## 全国よい仕事研究交流集会の経過

2018年4月13日 現在

年	月日	集会名	会場	参加人数	スローガン	記念講演・パネラー (敬称略)
1989	5/19.20	よい仕事研究交流集会	大学生協 渋谷会館	208人		
1990	10/18.19	団づくり・よい仕事研究交流集会(第八期事業団学校)	社会文化会館・全共連ビル			富澤賢治(一橋大学) 庄司興吉(東京大学)
1992	2/17.18	よい仕事研究・交流集会	箱根：ホテル南風荘	176人		内山哲郎(工学院大学)
1993	11/23.24	よい仕事研究交流集会	愛知県労働者研修センター	201人	人と地域に価値あるあらゆる仕事の事業化 団員一人ひとりの成長、能力の向上	池上惇(京都大学)
2010	10/16.17	よい仕事研究交流集会	日本教育会館	622人	協同労働によるよい仕事は 労働と仕事の未来に新たな展望を切り拓くか -仕事・労働の過去と現実をつきつめ、その人間的な未来を探る	村上智彦(夕張希望の杜) 宮崎隆志(北海道大学) 大山典宏(埼玉県職員)
			分散会	584人		
2011	10/15.16	全国よい仕事研究交流集会2011	狭山市民会館/東京・豊島公会堂	479人	地域をよみがえらせる、ゆたかにする 今こそ、市民の仕事おこしとよい仕事を	大江正章(コモンズ代表) 吉原毅(城南信用金庫理事長) 植田和弘(京都大学大学院教授)
			分科会を開催	501人		
2012	9/22.23	全国よい仕事研究交流集会2012	ニーショーホール/日本教育会館・サンシャインカンファレンスホール	480人	市民の協同の手による生活圏の創造	田中淳夫(農業生産法人・株式会社銀座ミツバチ代表取締役会長) 青山裕史(油蔭商事株式会社専務取締役)
			分科会を開催	520人		
2014	2/15.16	全国よい仕事研究交流集会2013	日本教育会館	276人	『協同労働の『よい仕事おこし運動』を職場から地域へ』 ～人が育ち・学び・つながる、地域がつながり、みんなで支え合う本物の豊かさを、自分たちで作ります、地域の文化と仕事の創造へ～	天童荒太(作家) 中村桂子(JT生命誌研究館館長)
			分科会を開催	363人		
2015	2/28.3/1	全国よい仕事研究交流集会2015	日本教育会館	534人	「はたらくことは人を命につなぐもの 社会的孤立と排除に抗し、『ともに生きる』地域をつくるー自らの果たすべき役割を問うー	山崎史郎(内閣官房まち・ひと・しごと創生本部地方創生総括官) 佐藤博(厚生労働省社会・援護局総務課課長補佐、生活困窮者自立支援室) 丹羽健司(矢作川水系森林ボランティア協議会代表、木の駅アドバイザー) 鈴木敬一、小野寺寛一(宮城県登米市地区長) 向谷地生良(浦河べてるの家理事、北海道医療大学教授)
			分散会を開催(日本教育会館/TKP市ヶ谷カンファレンスホール/TKPガーデンシティ)	508人		

■ 特集 全国よい仕事研究交流会 2018 ①

年	月日	集会名	会場	参加人数	スローガン	記念講演・パネラー (敬称略)
2016	2/27. 28	全国よい仕事研究交流会2016	ニーショール 分散会：明治大学	645人 592人	市民の手、市民の主体的力による新しい地域、新しい社会づくりは可能か 協同労働・社会連帯による地域からの新しい生活・文化運動の創造へ	佐伯康人(パーソナルアシスタント青空代表) 山崎史郎(内閣官房まち・ひと・しごと創生本部地方創生総括官) 大高研道(聖学院大学教授) 板持周治(鳥根県雲南市政策企画部地域振興課統括主幹)
2017	2/25. 26	全国よい仕事研究交流会2017	ニーショール 分散会：明治大学	601人 497人	市民自らが地域・社会をつくる時代を切り拓く—社会連帯経営の深化が「よい仕事」の全面的発展を促す	関野吉晴(探検家、人類学者、医師、武蔵野美術大学教授) 大高研道(明治大学教授) 伊藤勲(認定NPO法人やまぼうし理事長)
2018	3/3. 4	全国よい仕事研究交流会2018	ベルサール秋葉原 分散会：TKP品川カンファレンスホール	565人 466人	協同労働が法制化される時代のちと社会に向き合う協同労働・よい仕事とはなにか、その深化・発展のプロセスをみんなで考える	内山節(哲学者、前立教大学大学院教授) 大高研道(明治大学教授) 森康行(映画監督、映画『ワーカーズ 被災地に起つ』上映)



# 協同労働が法制化される時代 **2018** 全国よい仕事研究交流集会

いのちと社会に向き合う協同労働・よい仕事とはなにか、  
その深化・発展のプロセスをみんなで考える

新自由主義やグローバル資本主義は、途上国のみならず先進国でも多くの犠牲（格差、貧困、失業、食の安全、環境汚染・破壊等）の上に成り立ち、分断と孤立を広げています。日本を代表する大企業においても不正やデータ改ざんが次々に明るみになり、倫理観を失った経営が体質化をしています。派遣労働や非正規雇用の拡大による労働の劣化など不安と閉塞感が広がるなか、今こそ労働の在り方が社会の中で問われる時代を迎えています。



私たちは、ともにたたくこと・いきること・くらすことをこの間普遍的テーマにし、市民の大きな共感と連帯、そして参加や希望を生み出しています。法制化時代はだれもがいのちと向き合う仕事をおこしていけるようになります。ともに生きる共生社会づくりに向けて、「いのち」と「社会」に向き合う協同労働のよい仕事を深め、持続可能な地域づくりをめざしていきましょう。

## 記念講演 ともに生きる世界 — いのちと社会を結んで



講師 **内山 節氏** (うちやま たかし)

プロフィール 1950年東京都世田谷区生まれ  
哲学者 前立教大学大学院教授  
NPO法人「森づくりフォーラム」代表理事  
1970年頃から、東京と群馬県の山村、上野村との二重生活をしている

主な著作 『文明の災禍』(2011年、新潮新書)、『内山 節のローカリズム原論』(2012年、農文協)、『新・幸福論』(2013年、新潮社)、『内山 節・著作集』(2014年より15年まで、全15巻、農文協)、『半市場経済』(編著書、2015年9月、角川新書)、『いのちの場所』(2015年10月、岩波書店)

**3月3日(土) 10:30~17:45** 会場：ベルサール秋葉原

**全体会** 開会挨拶、基調提起、記念講演(内山 節氏)

パネルディスカッション 「いのちと社会に向き合う協同労働・よい仕事とはなにか〜その深化・発展のプロセスをみんなで考える〜」

映画「ワーカーズII」(仮称) (東北被災地における協同労働の仕事おこしの実践：森康行監督)、ほか

**3月4日(日) 10:00~16:30** 会場：TKP 品川カンファレンスセンター

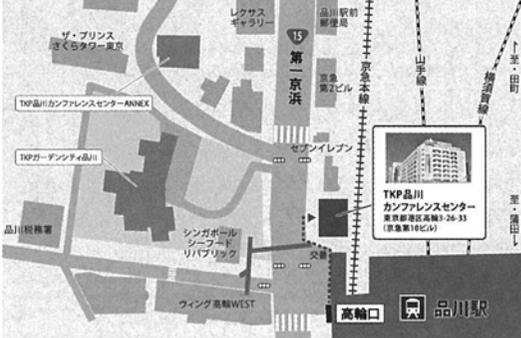
**分散会** 15の分散会に分かれて、全国の協同労働・よい仕事の実践レポートを基に実践を深めます。

申し込み 日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会 共催：一般社団法人 協同総合研究所  
問合せ先 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-44-3 池袋ISPタマビル7階 TEL 03-6907-8040 FAX 03-6907-8041  
E-Mail rngukism@roukyou.gr.jp ホームページ http://www.roukyou.gr.jp

## —— 協同労働の取り組み ——

私たち協同労働の協同組合（ワーカースコープ）は「共に生き、共に働く社会をめざして、市民が協同・連帯して、人と地域に必要な仕事をおこし、よい仕事をし、地域社会の主体者になる働き方」をめざして30有余年にわたり活動を行ってきました。私たちは、これまでの多種多様な「よい仕事」の実践の中から、全国各地であらゆる困難に立ち向かう中で、日本社会の困難を、実感をもった事実として掴んできました。そして、それぞれの個別課題の解消だけでは本質的な問題解決には至らず、地域社会を変え、地域の人々との協同・連帯が必要だとそれぞれが実感し、全国各地で地域との関わり合いが深まり始めています。また多くの現場で社会的困難を抱える人々を、仲間として受け入れ、ともに働くなかで相互に成長し、自立を促す関係を育てています。地方創生や誰もが働ける地域づくりに向けて、協同労働が注目され、現在「協同労働の協同組合法」（仮称）が超党派の議員連盟によって進められ、法制化が目前となっています。国連が2015年に定め国際目標となっている「持続可能な開発目標（SDGs）」～誰一人取り残さない～にも、協同組合は期待されており、ワーカースコープはこれまでに国連に招聘されたりHPで紹介されるなど、推進に力を注いでいます。

### 会場案内

<p style="text-align: center;"><b>初日：ベルサール秋葉原</b></p> <p style="text-align: center;">〒101-0021 東京都千代田区外神田3-12-8 住友不動産秋葉原ビル2F</p>  <p><b>交通機関のご案内</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR秋葉原駅 電気街口／徒歩2分</li> <li>・つくばエクスプレス 秋葉原駅A1出口／徒歩3分</li> <li>・東京メトロ日比谷線 秋葉原駅2番出口／徒歩4分</li> <li>・東京メトロ銀座線 末広町駅1又は3番出口／徒歩3分</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>2日目：TKP品川カンファレンスセンター</b></p> <p style="text-align: center;">〒108-0074 東京都港区高輪3丁目26番33号 京急第10ビル</p>  <p><b>交通案内</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR品川駅 高輪口／徒歩1分</li> <li>・京急本線 品川駅／徒歩2分</li> </ul>
--	---

### 参加申込 資料代（一般）1,000円（学生・障がい者500円）

※両日、片方の日のみ参加のいずれにしても同金額となります。

■お名前、ご住所、ご連絡先などの個人情報の記入欄を設けてありますが、それらの個人情報は今後のお知らせ以外の目的に使用することはありません。またご本人の同意なく第三者に提供することもございません。

下記の表に必要な事項をご記入の上、日本労働者協同組合（ワーカースコープ）連合会 宛に送付してください。

### 参加申込書 FAX:03-6907-8041 日本労働者協同組合(ワーカースコープ)連合会 行

フリガナ		男	ご所属 企業名		
お名前		女	団体名	他	
ご住所	〒 -	TEL	-	-	
		FAX	-	-	
		E-mail		@	
参加日程	ご希望の日に ○をつけてください	3/3のみ	3/4のみ	両日参加	

### 全国よい仕事研究交流集会への申し込み、問い合わせ先

日本労働者協同組合（ワーカースコープ）連合会

TEL/FAX : 03-6907-8040/03-6907-8041 E-mail : rngukism@roukyou.gr.jp